



森ボラ 通信

NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816-7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

活動報告

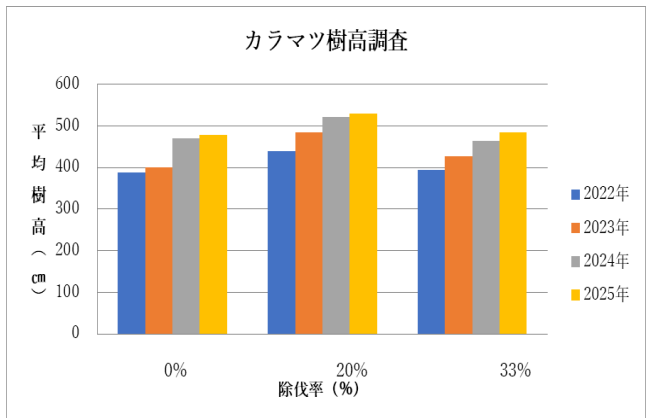
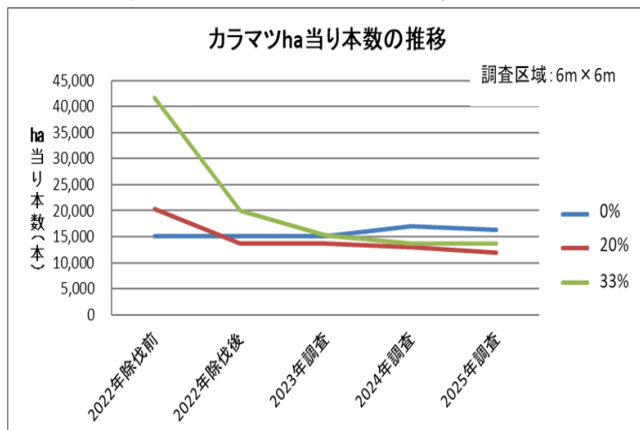
◆ぶんぶん・復興(独自)の森成長調査

【ぶんぶんの森】苫小牧市国有林1355林班ろ林小班(面積:7.09ha)では、2009年4月に北海道新聞社と胆振東部森林管理署が協定を結び、当協会は北海道新聞社の支援を受けて植樹指導、下草刈りなどの育林管理を継続して行ってきました。

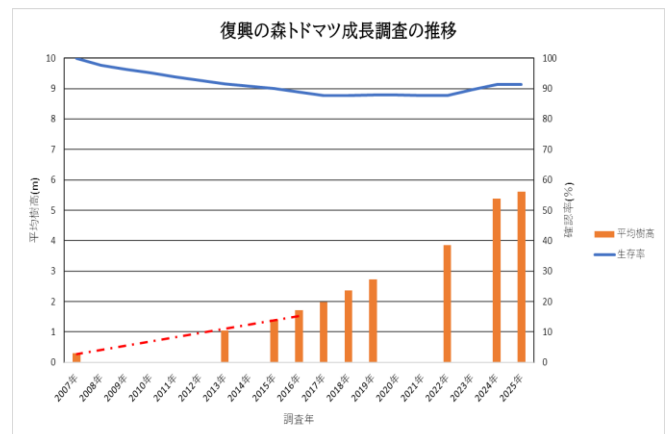
植栽樹種はトマツでしたが、植栽後の2012年頃から近隣の親木からカラマツの実生が生え、2016年には樹高が1.0m程となりトマツを凌駕する勢いを見せていました。

コロナの影響で活動中止を経て、2021年9月に胆振東部森林管理署、北海道新聞社、当協会の三者が現地に集まり、今後の活動方針を相談して基本的にカラマツの生長を見守ることとしました。その際当協会の提案により試験列を作り除伐の効果を確認することが了承されました。

試験列はこの区域のほぼ中央H23A区東側の3列(列の長さは約70m)とし、1列目:除伐しない、2列目:5本に1本除伐(除伐率20%)、3列目:3本に1本除伐(除伐率33%)としました。各列の生育本数がバラバラだったために現在では各列共に1ha当り本数が15,000本程度となっています。今年の調査を含めた各列の本数、樹高は下表のようになっています。今後は森林管理署と協議してさらに間伐を進めて今後の生育状況を追跡する予定です。



【復興の森】千歳市国有林5456林班に林小班(面積1.12ha)では、2007年に当会と石狩森林管理署が協定を結び、トマツ936本を植樹し下草刈り、成長調査などの育林管理を継続しています。



ここは植栽列の間に自然発生列、自然放置列があり多様な植生状況となっています。トドマツの平均樹高は5.5mを超え、確認率も90%と順調に成長しています。

植栽後18年を経て除伐、枝払い、間伐などの活動意見が出ています。石狩森林管理署と相談しながら今後の育林活動を継続したいと思っています。(文・樫棒)

◆第4回親子森林教室に参加して

今回は「夜の森歩き」というテーマで年に一度の夜の教室として7月12日19時から開催されました。初めにコウモリ写真家の中島宏章さんのお話があり、その後キャリコ橋までコウモリ探知機を使いながら夜の森を体験しました。以下参加者の感想文です。(事務局)

森しり隊員:小柳 杏夏(こやなぎ あんな)

蛍は数が減少していると本で読んだ時、半信半疑だったけど、実際に見てポツポツ見えるくらいでそんなにいなかった。

コウモリは見られなかったので少し悲しかったです。次の機会があれば本物の生きているコウモリを見たいです。あとコウモリが風力発電での衝突事故があると聞き、それを阻止したいです。私は電気を使わない発明をしたいです。



保護者:小柳 博嗣(ひろつぐ)/容史香(よしか)

冒頭のコウモリ先生(中島宏章氏)の講義は大人にも興味深く、子供は惹きこまれるような内容でした。コウモリは鳥だと思っていたので目からウロコならぬ羽根が出た思いです。初めて本物のホタルが見られてとてもいい経験になりました。皆様、夜遅くまでありがとうございました。

森しり隊員:竹原 匠造(たけはら しょうぞう)

今回、ホタルをあんなにたくさん見られたのは初めてで、とてもきれいだなと思いました。コウモリは見るのができなくてざんねんだったけれど、色々なことが知れて良かったです。

保護者:竹原 睦(むつき)

札幌の市街地にも、多くの種類のコウモリが生息していると知り、驚きました。今回は夜の活動ということで、いつもとは違う森の様子を観察でき、とても新鮮でした。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



◆森ボラ体験記

東京都小笠原村 父島高等学校3年小林大樹

本当にありがとうございました。とても楽しかったです。

森ボラでは小笠原ではできない薪作りや木の伐採、見たことの無い植物を見ることが出来とても良い経験となりました。また、森ボラを通して北海道で行われている自然保護の取り組み、生態系を知ることが出来ました。2日間本当にありがとうございました。

(事務局追記:7月24、27日の2日間澄川環境林で体験。亜熱帯の父島から村の助成を得て来道)



◆Mt. 菱の森

残雪が足元に残る 2025 年 4 月の週末が澄川の森との最初の出会いでした。

何とも言えない暖かな日差しが照り、エゾリスが走り回り、遠くに近くに野鳥の声が響き、水芭蕉が小川を縁取り、葉のない木々が芽吹きの時を待ち構えている、そんな気配を感じながら過ごしました。

私の生まれ故郷は多摩ニュータウンの一角です。半世紀前は野生のキジが住む雑木林があり、蚕農家や米農家も残っており、あちこちにクリの木やカキの木が自生する丘陵地でしたが、高度経済成長期の都市計画で団地や宅地に塗り替えられました。野山が壊されていく過程を間近に見ていた幼少期の記憶、壊すのではなく守る側の立場で自然と向き合いたいと募る想い、導かれるようにして北海道への移住を決断し、20 年の月日が流れました。

一本の木が巨木になるまでには、気の遠くなるような年月を事故も怪我もなく生き続ける必要があります。本当に幸運な木でなければ、大木にはなれません。

樹木が人間に与える恩恵の数々に想いを馳せるとき、樹木との共生ばかりの人類の歴史にも想いを馳せます。一本でも多く巨木に育ってくれることを願いながら、これからも豊穡の森づくりに参加させていただきたいと思っております。(文・菱山)



電動ドリルを使ってキノコの植菌作業



整理伐材を活用してスイス式マキ積み

■ 澄川の自然 72

ウド(独活・ウコギ科)

今頃の時期山に入ると春山菜好きの人達が目こぼれで助かったウドが花を咲かせている。人間の背丈よりも大きくなり、とても素敵な花で、連なって咲く様は線香花火を思わせる。山菜採りの人達は春のウドを探していても、この花がウドの花だと知らないかも知れない。

最近、スーパーなどでとても立派な美味しそうなものが店頭に並んでいるので、今年買ってみました。山菜独特の風味はなく、畑の栽培品だとがっかりしました。

(写真/文・西野(澄))



■今月の幹事会

出席者(8/6):老田、大窪、荻田、葛西、樫棒、平、西野(澄)、早坂、松藤、矢野

1. 2025 年 9 月、10 月活動スケジュール(9 月幹事会 9/10(水)):10/7 秋の清掃活動。了承
2. 2025 年度 7 月会計報告:了承
3. 2025 年度 7 月多面活動報告:多面事務局主催の技能安全講習 9/9 チェンソー、9/19 刈払い機。了承
4. 2025 年度植栽計画:澄川、野幌道有林・国有林、烏柵舞にて針葉樹 1,030 本、広葉樹 162 本予定。
5. 現場報告
 - ・整理伐状況:800 本余りを選木。整理伐を今後の 3 年間で 1,000~1,500 本予定。了承
 - ・2025 年度炭焼き計画:9/6 移動式炭化炉にて炭焼き。9/14 親子森林教室にて化粧炭作り。了承
 - ・澄川作業道の補修:8/18~8/23 D-3 区作業道に砂利敷実施予定。
 - ・ぶんぶん・復興の森成長調査:復興の森ドマツをクリスマスツリーに活用出来ないかの意見有り。
今後石狩森林管理署と協定の締結、活動内容の協議を進める予定。
6. その他
 - ・森ボラホームページ進捗報告:6 月の訪問数 2,037 件。了承
 - ・ボランティア袋:札幌市環境事業部循環型社会推進課に従来の袋使用を確認中。
 - ・機器修理及び機器管理者交代:チェンソー1番は修理不能で部品取り、刈払い機3番は修理終了。了承
 - ・研修旅行:10/20 東大富良野演習林研修確定。宿泊先、2 日目の行動を検討中。了承
 - ・株式会社 110 周年記念行事:9/13 コーチャンフォー・ミュンヘン大橋店にて式典。
会員の参加不要。
10/18 澄川にて植樹祭(110 本の植樹予定)会員の協力必要。

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
7 月 16 日(水)	西野第二	8	倒木処理、笹刈り
7 月 18 日(金)	澄川	13	水質調査、マキ作り
7 月 21 日(月)	野幌道有林	8	草刈り
7 月 24 日(木)	澄川	15	刈払い機・チェンソー操作安全講習、ホダギ水やり、マキ作り
7 月 27 日(日)	澄川	6	マキ作り、小笠原からの体験者案内
7 月 29 日(火)	野幌国有林	7	下草刈り、列杭設置、列の長さ測定、日本道路 CSR 支援
8 月 2 日(土)	澄川	7	マキ作り
8 月 4 日(月)	澄川	10	A2 選木、マキ作り
8 月 6 日(水)	ラルズビル地下 1 階	10	幹事会
8 月 8 日(金)	澄川	-	雨天のために活動中止
8 月 10 日(日)	澄川	10	マキ作り、ホダギ本伏せ、澄川南小マイツリー用杭作り